

D X 時代の農業戦略 ～データ農業と地域ブランド～

データを活用する新しい農業の時代が到来する中で、それを担う若い就農者等の支援や、DXを活用した新たな地域ブランド戦略等に関する講義や事例紹介を踏まえ、農村部の市町村が取り組むべき農業戦略について議論し、農業を通じた地域産業の振興に必要な知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

なお、本研修では座学に加え実地研修を行います。

日 程 令和7年10月6日（月）～10月10日（金）（5日間）

場 所 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）千葉市美浜区浜田1丁目1番地

対 象 市区町村職員 中堅職員以上

定 員 40名

経 費 8,800円（食費を除きます。また、教材用図書費が別に必要となる場合があります。）

申込期限 令和7年7月1日（火）

申込方法
市町村アカデミー
WEBポータル

- ・市町村アカデミーのホームページ右側に表示される「申込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」から、お申込みください。
- ・「WEBポータル」のご利用に当たっては、アカウントの作成が必要となります。

申込み
問合せ先

 市町村職員中央研修所研修部
(TEL) 043-276-3126 (URL) <https://www.jamp.gr.jp>

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、あらかじめ御了承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

- ・研修受講に当たっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から、予めノートPC等の端末にダウンロードした上で持参してください。
- ・端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

10月6日／月

13:15 - 14:45

入所

15:00 -

開講式・オリエンテーション

16:30 -

課題演習

討議

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

10月7日／火

9:00 - 12:00

講義

スマート農業の最前線と今後の展望

株式会社日本総合研究所
創発戦略センターチーフスペシャリスト

三輪 泰史 氏

スマート農業に関する総論です。日本の農業の現在地を把握した上で、行政としてスマート農業をどのように使うか考えます。

13:00 - 14:10

講義

スマート農業推進のための国の施策

農林水産省

生産者への普及のための施策、国による技術開発の支援、スマート農業教育やデータ連携基盤等の環境整備などを含む国の施策の動向について学びます。

14:25 - 15:35

講義

データで人と人がつながり、
地域の農業が盛り上がる！
＜所得向上～後継者育成～地域産業の育成へ＞

高知大学 I o P 共創センター特任准教授
岡林 俊宏 氏

農業を持続可能なものとするため、農村を抱える自治体は今、何をなすべきなのか、農業先進国オランダから学び、「データ駆動型農業」を導入し、農業の生産効率では、他の都道府県を寄せ付けず圧倒的に1位となっている高知県の取り組みを通じて学びます。

15:50 - 17:45

討議

課題演習

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagagin/>



JAMP Newsletter

検 索

市町村アカデミー出発

当研修所でバスを用意し、実地研修へ向かいます

9:00 - 10:30

講義・実習

【実地研修】
現場で学ぶDX時代の千葉市の農業

千葉市農政センター

千葉市農政センターは、2022年、スマート農業の実証フィールド化、栽培試験・研修の強化、農業技師の指導力強化の3つを柱とするリニューアルプランを策定し、千葉市農業の成長産業化を支援する現場の拠点となっています。農政センターを訪問し、スマート農業機器導入による生産性向上、データ活用ができる農業者の育成などDX時代の農業の取組について説明いただきます。

13:00 - 14:30

講義・実習

【実地研修】
現場で読み解くスマート農業、
地域ブランディング

株式会社SOTOBO I SUMI 取締役、
NTT東日本地域ICT推進部担当課長

三木 篤 氏

県内有数の農地面積を誇るいすみ市において、SOTOBO I SUMIが千葉発のベンチャー企業「ワイヤレスデザイン」等と連携して水田の水管理に係る実証実験を行い、有機米栽培における水管理の効率化を実現した現場を訪問し、現場で講義いただきます。
※SOTOBO I SUMI：京葉銀行、NTT東日本千葉事業部、いすみ市の連携のもと2019年に設立された地域商社。

14:30 - 15:40

講義・実習

【実地研修】
視察が絶えない有機給食
～有機を通じた地域所得、
地域魅力の向上～

千葉県いすみ市農林課有機農業推進班班長

鮫田 晋 氏

高齢化や担い手不足に見舞われ、先行きの見えない状況が続く中、千葉県有数の米の産地いすみ市は2013年から有機米栽培に活路を見出しました。農家の希望で始めた学校での有機米給食は、全国で評判となり、地域所得の向上に寄与しています。いすみ市土着菌完熟堆肥センターを訪問し、現場でその取組を説明いただきます。

市町村アカデミー帰着

17:45 帰着・終了予定

9:00 - 10:35

講義

「農業×ICT」を通じた地域経済の
活性化や街づくりをめざして
～官民コラボの農業戦略～

株式会社NTTアグリテクノロジー

代表取締役社長

酒井 大雅 氏

地域でスマート農業に取り組むには、行政の力だけではなく、民間企業との連携が不可欠です。「農業×ICT」を通じて全国各地で地域経済の活性化に取り組むNTTアグリテクノロジーから、ICTを活用しての生産性、収益性向上の具体例や行政と連携しての取り組みやその成果などについて講義いただきます。

10:50 - 12:00

講義

持続可能な地域づくりにおける
スマート農業の位置づけ

株式会社白銀カルチャー代表取締役

荒木 康男 氏

スマート農業の導入が求められる中、ツールとしてのデジタル技術を適切に理解し、農業を通じた持続可能な地域づくりをどのように進めていくべきか、俯瞰的に学びます。

13:00 - 15:35

講義・演習

DXを活用した地域ブランド戦略

株式会社紡代表取締役

玉沖 仁美 氏

どんな素晴らしい農産物を生産しても、人に知られ、高く売れなければ意味はありません。高付加価値化のために消費者を意識したストーリーづくり、PR方法を学ぶと共に、SNSやDXを駆使して少ない労力で大きな成果を得るための基本的な知識を学びます。

15:50 - 17:45

討議

課題演習

9:00 - 12:00

発表・講評

課題演習

株式会社日本総合研究所

創発戦略センターチーフスペシャリスト

三輪 泰史 氏

班別討議の内容を各班ごとに発表し、その内容について講師から講評をいただきます。

12:10 -

修了式